

第 22 回 香川県立保健医療大学大学祭 橄欖祭の開催にあたって 学長 井伊 久美子

第 22 回大学祭「橄欖祭」の開催、おめでとうございます。

今年のテーマ「RE START」は、3 年間の空白を乗り越え、新たな出発をする学生の皆さんにとって最もふさわしいテーマです。

大学祭は、学生が自ら企画する最大の行事です。相互に尊重し、議論を重ね取り組む経験はそれ自体素晴らしいものです。準備を進めてきた関係の皆様への熱意と努力に敬意を表するとともに、過去を超える橄欖祭を期待しています。

最後に、大学祭の開催にあたりまして、ご支援をいただきました地域の皆様、関係機関や後援会の皆様へ心よりお礼申し上げます。ありがとうございます。

第 22 回橄欖祭によせて 副学長・学生部長 平川 栄一郎

第 22 回橄欖祭の開催おめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症により、対面での会話の自粛やマスクの使用など日常生活に多大な影響が及び、人と人との関係が以前より希薄になってきた感は否めませんでした。しかし、本年、新型コロナウイルス感染症の感染法上の分類が 2 類から 5 類に引き下げられ、ようやく人々に通常の生活が戻ってきたところです。今年のテーマ「RE START」にはこの新型コロナウイルス感染症を乗り越え「再スタート」をきるという意味が込められていると聞きました。本学が地域社会に根付いた大学として、笑顔があふれ、人と人との絆、地域社会の中での絆を、再び強く築いていくことで、魅力ある大学祭を創りあげていってほしいと思います。学生の皆さんが、この橄欖祭を通してお互いの絆を深め、さらに成長し、本学の良さを多くの県民の皆様を知っていただけることを願っています。

第 22 回 大学祭開催に寄せて 後援会長 高橋 秀行

このたび、「RE START」をテーマに「第 22 回橄欖祭」が開催されますこと、後援会を代表して心よりお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の 5 類移行に伴い活動の制限が緩和され、今回は前年度より規模を拡大し、本来の「橄欖祭」としてまさに「RE START」しようとしています。

学生の皆さんは、このように従来どおり開催できることに感謝し、新型コロナで開催できなかった先輩方の思いを忘れず、青春の 1 ページとなるよう楽しんでいただきたいと思います。

最後になりましたが、ご協力いただいた地域の方々、先生方大学職員の皆様へ厚くお礼申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。